

公表用データシート

業 種	航空
取組分野	安全方針の周知徹底、見直し等
テーマ	安全文化評価アンケートの実施
取組の狙い	社員の安全意識の浸透・定着の度合いを把握・評価する
具体的内容	<p>1. 全日本空輸株式会社(以下「ANA」という。)では、具体的に捉え所のない安全文化を目に見える形で評価するため、外部の専門機関である社会安全研究所と協同で、ANAグループの安全文化をアンケートにより定量的に把握する仕組みを構築している。【別添参照】</p> <p>2. 同アンケートの内容は、組織統率、責任関与、相互理解、危機意識、学習・伝承、業務管理、資源管理、動機付けの8つの評価軸に関する計42の質問で構成され、これを3つの階層(組織全体の意思決定に関わる立場、決定したことを機能させる立場、業務の実施者)に対応した質問内容にして実施、評価している。</p> <p>同アンケート調査の結果を分析し、会社全体の、また、各階層毎の安全に関する意識の状況を把握し、これらの結果から見出される課題を抽出し、安全に関する取組みの見直し・改善に反映している。</p> <p>3. 2009年度は、第1回目で提起された問題点の改善を図り、ANAグループ41社、約28,000人(外国人乗務員、派遣社員を含む)を対象に2回目のアンケートを実施し、その結果に応じた施策を検討、実施している。</p> <p>今後も本安全文化評価を定期的の実施し、社員の安全意識の浸透・定着の度合いを把握・評価する予定であるとともに、アンケート内容や、やり方についても継続的に改善していく予定である。</p>
取組の効果	専門の知見を有する第三者機関と協同で行うことにより、ANAグループ全体及び各グループ企業、各部門毎に、より客観的な評価・分析を行うことができる。
事業者名	全日本空輸(株) [連絡先:グループ総合安全推進室 グループ安全推進部] 電話 03-5757-5040

安全文化評価アンケート設問一覧

評価軸	尺度	設問内容
組織統制	方針や目標の共有	1. 安全に関する方針・目標を十分に周知している
	安全管理の責任や権限の明確化	2. 安全管理を担う担当や会議体を明確に定めている 3. 問題を掌握しそれに対する権限を担当部署に明確に与えている
	安全に関するマネジメントの実効化	4. 安全への取り組み状況結果を十分かつ速やかに周知している 5. 安全に関する実績データを収集し、安全対策に活用している
責任関与	全員の積極姿勢	6. 方針・目標に基づいた活動計画などを策定している 7. 活動計画などを念頭に積極的に安全を考え日々行動している 8. ほとんどの人が積極的に安全を考えて日々行動している
	安全に関するルールの遵守	9. 安全に関する法令・マニュアル等を自ら率先して守っている 10. ほとんどの人が安全に関する法令・マニュアル等を守っている
相互理解	トップと現場との交流	11. 職場の社員の意見に積極的に耳を傾けている 12. 実態把握のため、積極的にコミュニケーションを図っている
	部・室内の交流	13. 業務上の情報を共有し連携をとるため働きかけをしている 14. 良好な人間関係を築き相互理解を深めるため働きかけをしている
	部・室間、部門間の交流	15. 他部署・事務所との情報交換を積極的に推進している 16. ANA 本部門／グループ内他社間の情報交換を積極的に推進している
	関連会社・委託先との交流	17. 委託先からの情報を積極的に受け入れ、活用している 18. 委託先と良好な人間関係を築くため働きかけをしている
	社会との対話・交流	19. 同業他社や異業種間で安全に関する情報交換・交流をしている 20. 社会と交流する場に積極的に参加するよう働きかけている
危機認識	リスク要因の抽出と対策の実施	21. 業務上のリスクを組織的に把握し、十分周知している 22. 潜在リスクに対し検討を行い、効果的な対策を実施している
	事故・災害時の備え	23. さまざまな重大事態に対する具体的な対応計画を整備している
学習・伝承	安全に関する教育・訓練の実効的な運用	24. 安全に関する教育・訓練を社員能力に応じて体系的に実施 25. 職場実施の安全に関する教育・訓練は業務に役立っている
	効果的な技術伝承の実施	26. 知識やノウハウを伝承する仕組みを効果的に運用している
	責任追及ではなく再発防止を重視する風土づくり	27. ミスをおかした人を非難しない雰囲気づくりをしている 28. 小さなトラブルも気兼ねなく報告できる雰囲気づくりをしている
	事故・トラブル・ヒヤリハット情報などの活用	29. 小さなトラブルのうち職務上必要な最新情報を十分知っている 30. 小さなトラブルなどに基づいて、効果的な対策を実施している
業務管理	ヒューマンファクターズに配慮した作業標準や規程	31. 職場設備・備品や作業環境を快適なものとしている 32. 規定等を業務に合ったものになっていることを確認している 33. 規定等の遵守状況を確認したり、指導したりしている
	業務の見直し・改善	34. 規定・環境等を担当者意見を反映し、必要に応じ改善している 35. 規定・環境等を変更する際、問題が生じないか検討している 36. 規定・環境等の変更・改善がある時に速やかに周知している
		安全に配慮した資源配分
資源管理	アウトソーシングの適正化	38. 委託先の業務内容を確実に管理できる体制を作っている 39. 委託先の安全実績を頻繁に確認し、安全性向上を支援している
	安全活動・安全意識を評価する組織	40. 安全活動・意識を表彰等するしくみをつくり、運用している 41. 地道な安全への取り組みにも目を配り、評価している
動機付け	安全優先の判断を評価する組織	42. 安全優先の判断が尊重される雰囲気をつくり、実践している